



夕張の医療を考える集い

夕張は50年後の日本のモデル

地域の中で健やかに暮らすために

5月20日(土)、「夕張の医療を考える集い」代表、前沢政次先生主催の講演会が拠点複合施設りすた多目的ホールで開催され、市内外から52名の参加者が集いました。

● 2023年5月20日(土)14:00~16:00
● 拠点複合施設りすた多目的ホール

地域の中で健やかに暮らし「いのち」を全うする手がかりを、地域医療と予防医学にながれ組んでこられたかつての同僚医師お二人からうかがう集いです。

講演 第一部
「家族の死と音楽」
～ 柳田邦男著『犠牲(サクリファイス)より』～
前沢政次(前夕張市立診療所長・北海道大学名誉教授)

第二部
「これからの医療に必要なもの」
武蔵学(前天体大学学長・北海道大学名誉教授)
*講演後、医療相談を申し受け可

主催 「夕張の医療を考える集い」(代表：前沢政次) 入場無料(申込不要)

進行：奥い合わせ TEL 090-2696-8677

※主催者：日本共産党夕張市委員会

第一部は前夕張市立診療所の所長の前沢先生による講演で、「家族の死と音楽」『犠牲(サクリファ

男さんの著書を引用。死の重さを感じました。登場人物の既往歴をたどり、

これからの医療に必要なもの

第二部は、前天使

息子の成長過程でどのようなことが起きていたのか、家族関係や生活背景を紐解いていき

亡くなった息子が好んで聴いていたという

25年問題として、

まず、日本の20

療に携わっている先

生です。



前沢政次先生

作家の実際の成長過程でどのようなことが起きていたのか、家族関係や生活背景を紐解いていき

まず、日本の20

団塊の世代が75歳以上となることに触れ、夕張の人口と高齢化率の現状を踏まえて、「夕張は50年後の日本のモデルであり、リーダー」なのだ。

多世代交流の居場所 住民同士のネットワーク

また、健康寿命が73歳と76歳と男女ともに長い山梨県を例に、

この夕張で健康寿命を延ばす取り組みが成功すれば、全国の希望になるというお話でした。そのためには、生活習慣病の予防が欠かせず、食生活と運動習慣が大切です。

① 節食・腹八分目

野菜やタンパク質を先に食べる。緑黄色野菜はがん発生を抑制する。

② 減塩・1日の塩分6グラム

大さじ2杯の醤油と考えると道民は塩分過多。漬物は控えよう。

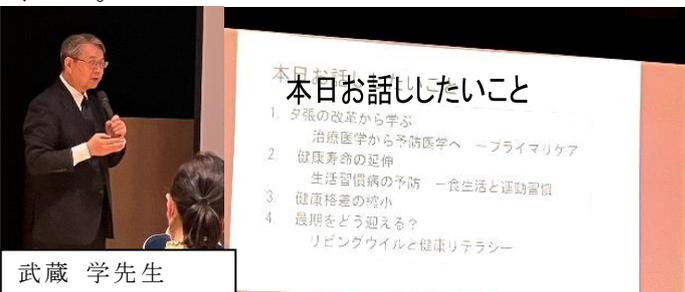
③ 運動はウォンターキング

高年齢者支援として多世代交流ができる居場所づくり、見回りや住民同士のネ

☆「無尽講」の歴史。近所同士でお金を貯め、積み立てて困った時に助け合う活動がある。

夕張も「一山一家」の精神がある場所であり、助け合いを深め、健康寿命の延伸に取り組んでいけるはずだ。

高年齢者支援として多世代交流ができる居場所づくり、見回りや住民同士のネ



武蔵学先生

どこでどのような最期を迎える?

そして、どこで、どのように最期を迎えるか。

元気なうちに自分の希望を文章にしておくことも一人ひとりが受け止めていく課題です。

前沢先生と武蔵先生の穏やかであたたかい語り口に、会場からも笑みがこぼれていました。

「札幌まで安心の公共交通を」 新日本婦人の会 市長に要請



懇談の中で厚公司長は、「皆さんのご心配はよくわかりました。札幌までは無

6月1日、新婦

人夕張支部では、高齢者の暮らしと健康を護るため、札幌・栗山方面への「高齢者が利用しやすい公共交通の創設」をお願いする要請書”を市長に手渡し、懇談しました。

要請内容は、次の通りです。

1. 高齢者が自宅近くで乗降でき、乗り換えなしで利用できる札幌・栗山方面のバス路線を創設してください。

2. 予約が必要な場合も、時間にゆとりと融通が利く、利用しやすいバス路線を創設してください。



理ですが、長沼には、バスの待合施設があり、1時間に1本程度の札幌行のバスがあるの、栗山を經由する形で1日4便程度を考えています。また、由仁町も經由するので、今後由仁町と協力体制をつくれるよう、相談しながら、10月までには一番いい方法で実施できるような検討していきます。」と話していました。



桜井あきの
ポカポカ日記
夕張市議会議員 桜井あき



5月27日(土)、コロナ禍のためこの間、種々の制限下の中での開催を余儀なくされてきたようばり小学校の運動会が、久々に制限なしで行われました。お天気も曇り空から太陽が顔を出し丁度良い感じに。福祉施設の入居者の方々も招待されました。

もんくなしにかわいいー。二年生、中高学年の躍動感溢れる姿に見ている者みんなが元気をもらい、声援と歓声がこだまするグラウンド。保護者の方々もあらかじめ用意していたらしく、借り物競走では、覆面レスラーなどに変身して、楽しい雰囲気を出してくれました。クライマックスのリレーでは、この日最高の盛り上がりを見せました。会場が一体となり心から楽しい運動会でした。

夕張唯一の小学校、そこで成長する子どもたち。まさにまちの宝です！



地域からの応援団



紅組の優勝！



PTA 大変身♪



はたやま和也
元衆議院議員
はたやま 和也

今度こそ、国会へ

衆議院比例候補として発表されました。北海道ブロックは定数8で、前回は自民4、公明1、立憲3議席でした。大軍拡・大增税を進める岸田政権に厳しく立ち向かう日本共産党の議席が必要。読者のみなさんの応援を、よろしくお願ひします。

鉄路を守れ、泊原発再稼働・「核のゴミ」押しつけ許さない、千島領土問題など北海道から声をあげるべき課題が数多くあります。アイヌ民族の先住権保障もその1つ。先月、浦幌町で開かれた国際シンポジウムに紙智子参議院議員と参加しました。

世界でも先住民・原住民への差別や不当な扱いがあります。顔にペイントをして木々に隠れて監視している国もある、との報告にはどよめきも。一方、粘り強い運動や裁判などを通して権利を勝ち取っていると報告は力強く、支え合うあたたかな連帯が会場に広がりました。

道内各地のアイヌの方々とも交流できました。「今度は必ず当選するんだよ」との熱い激励をいただきました。主催者のラポロアイヌネイション・差間正樹さんの「サク捕獲権の回復に、私たちもあきらめずにがんばりたい」との言葉も胸に響きました。

日本はアイヌ先住権だけでなく、ジェンダー平等、LGBT差別禁止など、あらゆる人権の面で世界から遅れています。自民党のなから反対意見が出て先に進まないのです。自公政権を代えていかなければなりません。今度こそ、国会へ。私も全力を尽くします。